



株式会社 長大

人・夢・技術

News Release

令和元年 10 月 10 日

株式会社 長大

ダバオ日本人コミュニティー100周年記念事業で講演及びブース展示

比国で展開する民間主導（PPP）型地域開発事業に関する講演及び環境配慮型製品の展示

ミンダナオ・カラガ地域の事業実績と今後の展開について

当社事業の発展性と環境配慮への取組について講演とブース展示により説明

株式会社長大（東証一部上場、証券コード9624。永治泰司・代表取締役社長。以下「当社」）は、10月2日（木）からフィリピンのミンダナオ島ダバオ市で開催された、「ダバオ日本人コミュニティー100周年記念事業」に講演及びブース展示で参加いたしました。

本事業は、在ダバオ総領事館がダバオの日本関係団体等と協力して、ダバオ日本人コミュニティー100周年を記念する大規模な事業として、日本文化や日本食などの紹介、日本企業紹介、ビジネス・セミナーなどから構成され、ドゥテルテ大統領就任後注目されているダバオ市で日本のプレゼンスを示し、同市と日本の関係強化に弾みをつけることを目的とし開催されました。

ダバオで麻栽培等に日本人が従事し始めたのは1903年からで、1920年頃からは定住者による日本人コミュニティーが成立しました。2018年は「ダバオ日本人会」設立100周年、2020年はダバオ領事事務所開設100周年に当たります。2019年にはダバオに日本国総領事館が設立される機会を捉え、ダバオと日本の過去100年を振り返り、今後の100年を見通す機会として100周年事業を2019年10月に実施し、ドゥテルテ大統領就任後注目されているダバオ市で日本のプレゼンスを示し、同市と日本の関係強化に弾みを付けることを目的とします。本事業は日本文化紹介、日本企業紹介、日本食促進、観光促進、ビジネス・セミナーなどから構成されました。

10月2日から4日までの間に市内のマルコポーロダバオ・ホテルで開催されたビジネス・セミナーでは、10月3日に「ミンダナオ主要都市のビジネス事情」をテーマに、ジェネラル・サントス市、ザンボアンガ市、カガヤン・デ・オロ市、ブトゥアン市の市当局関係者、商工会関係からのブリーフィング、パネル・ディスカッションが行われる中、当社は社会創生事業本部新エネルギー技術部の宗広部長（兼事業推進本部事業開発推進部）が『“ミンダナオ”の可能性を開くインフラ開発』と題して、登壇、発表致しました。

講演は、はじめに長大グループの紹介及び日本の投資家や企業から見たミンダナオの現状を紹介した後、ミンダナオが貧困から抜け出し経済発展するために必要なインフラの開発戦略について提言し、先行事例として当社がミンダナオ・カラガ地域で展開する民間主導（PPP）型の地域開発事業を紹介しました。

講演後は、ミンダナオの各市当局関係者や MinDA(ミンダナオ開発庁)、富士通など他の日系企業の参加者から多数の感想やコメントを頂き、当社のミンダナオにおける活動に対する関心の高さを窺う事が出来ました。

また、10月4日(金)から6日(日)まで SM-Lanang(複合商業施設)で開催されたブース展示では、当社が扱うインフラ関連の環境配慮型製品のうち、今後の経済発展が見込まれるミンダナオでの導入が期待される製品を中心に展示・紹介しました。

紹介した製品は、『Re-Flex(道路照明を代替するコンクリート構造物用反射塗料材)』、『バイオトイレ(下水施設不要のトイレ)』、『パイプテクター*(給水管等の配管の延命装置)』、『EMS**(エネルギー・マネジメント・システム)』です。(*:日本システム企画株式会社製 **:e-Formula 社製)

週末ということもあり、地域でトップクラスの集客を誇る SM-Lanang を訪れた多くの方に当社ブースへ立ち寄り頂き、普段は接する機会の少ない一般顧客に対して、当社の環境配慮製品を強く印象付けることが出来ました。

また、ブース展示場に併設された特別ステージにおいて、10月5日(木)、6日(日)の2日間にわたり、日本・ミンダナオ・セミナーが開催されました。JICA(独立行政法人国際協力機構)、北九州市、ICRC(赤十字国際委員会)、A-PAD(Asia pacific alliance for disaster management -Phils)が、組織の紹介やフィリピン及びミンダナオでの取り組みに関する講演を行う中、当社は、事業推進本部事業開発推進部の細谷課長補佐(兼長大フィリピン・コーポレーション副社長)が登壇し、当社の民間主導(PPP)型地域開発事業を中心に発表致しました。

マルコポーロダバオ・ホテルで開催されたビジネス・セミナーとは打って変わり、聴講者の多くは SM-Lanang を訪れる一般顧客でした。そのような中、ダバオ市の東に位置するサマル市のウィ市長にも聴講頂き、当社の民間主導(PPP)型の地域開発事業への大いなる関心と期待を寄せていただきました。

講演後は、地元メディア(マニラブリティン新聞)からの取材を受け、翌日にはインターネット・ニュースの記事になるなど、当社のミンダナオでの事業活動について、フィリピン国での認知度を更に高める良い機会になりました。

当社は一貫して日本に関係する主体が可能な限り関与・協働する機会を創出し、日本からのヒト・モノ・カネを取り込んでいくつなぎ役を実践して参りました。フィリピン国においては、これまでミンダナオ・カラガ地域での事業活動が中心でしたが、今後は、これまでの実績を踏まえて、事業エリアを更に拡大していきたいと考えております。

また、当社は、日本の政府系機関や地方自治体、民間企業の参画機会を最大限に増やすべく、日本や日本企業とのつなぎ役としての機能を担いながら、ミンダナオ島の経済発展に強く貢献をしていきたいと考えております。

■お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

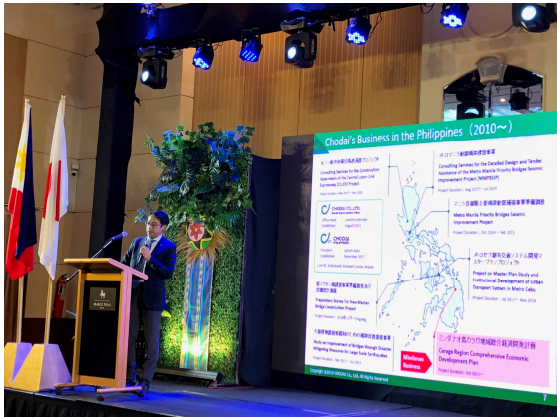
宗広裕司 (むねひろ・ゆうじ) 株式会社長大 社会創生事業本部 新エネルギー技術部長 兼 事業推進本部 事業開発推進部	大浦雅幸 (おおうら・まさゆき) 株式会社長大 事業推進本部 事業開発推進部 課長 長大フィリピン・コーポレーション 副社長	細谷俊道 (ほそや・としみち) 株式会社長大 事業推進本部 事業開発推進部 課長補佐 長大フィリピン・コーポレーション 副社長
--	---	--



E メール:munehiro-y@chodai.co.jp 電話: 03-3532-8623	E メール:ooura-m@chodai.co.jp 電話: 03-3532-8623	E メール:hosoya-t@chodai.co.jp 電話: 03-3532-8623
---	--	---

■参考資料:

1. ビジネス・セミナーでの講演



宗広部長による講演

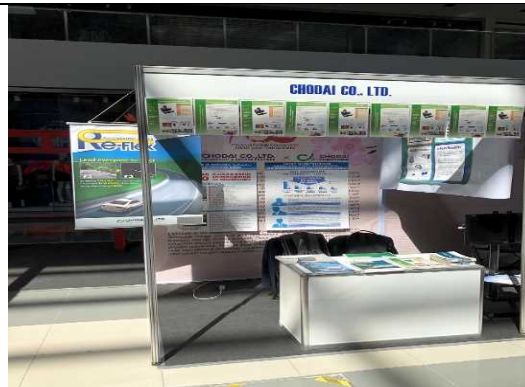


三輪総領事(右から二人目)と宗広部長(左から二人目)

2. 10月4日(金)から6日(日)まで SM-Lanang(複合商業施設)で開催されたブース展示



会場全体の様子



長大ブース

3. ブースでの講演

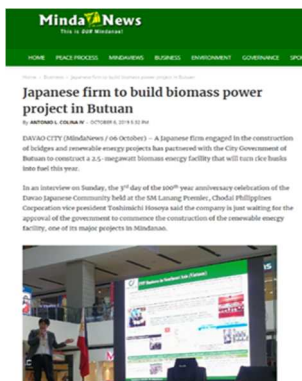


細谷課長補佐(兼長大フィリピン・コーポレーション副社長)による講演



ウィ市長(右から二人目)と三輪総領事(右から三人目)と当社展示ブース前での撮影

4. インターネット・ニュースの記事



<https://www.mindanews.com/business/2019/10/japanese-firm-to-build-biomass-power-project-in-butuan/>



<https://news.mb.com.ph/2019/10/06/japanese-firm-to-build-biomass-plant-in-butuan/>

5. ブースで紹介したインフラ関連製品

■ Re-Flex



Daytime

Re-Flex 施工箇所(昼間)



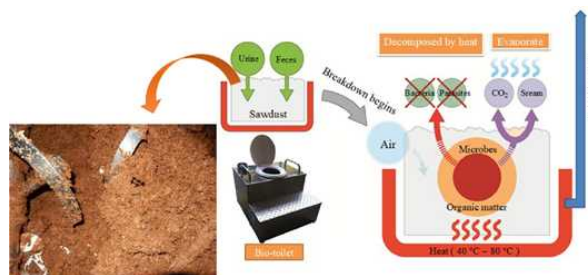
Night

Re-Flex 施工箇所(夜間)

■ バイオトイレ



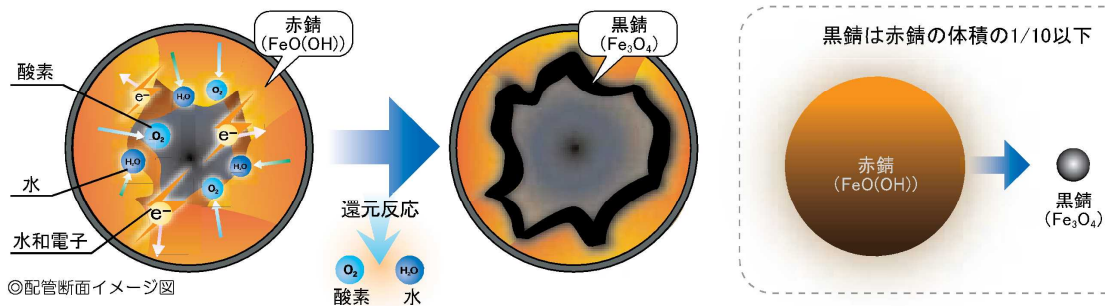
バイオトイレの外観



Sawdust in Bio-toilet tank
Human waste treatment mechanism of Bio-toilet

バイオトイレの仕組み

■ パイプテクター



パイプテクターの仕組み(赤錆を黒錆に変えて配管内の赤錆腐食を防止)

■ EMS

